

平成29年度予算案
重点施策項目

奈良市

【目次】

平成29年度の予算案について	1
◆教育環境の充実	1
■ 次世代を見据えた公教育	1
■ 安心できる「学び」の場	1
■ 学校生活の充実	2
◆子育て環境の充実	3
■ 子育て支援の充実	3
■ 保育・相談体制の充実	3
◆安心・安全に暮らせるまちづくり	4
■ 防犯・防災対策の充実	4
■ 安全安心のまちづくり	4
■ 福祉の充実	4
◆快適な未来を見据えた都市整備	5
■ 都市基盤の整備	5
◆地方創生等の推進	6
■ 女性の活躍	6
■ 地方創生の促進	6
■ 観光客誘致	6
■ 文化活動の促進	7
■ 定住促進	7
■ 健康長寿の推進	7
■ 市民サービスの向上	8
■ その他の施策	8
■ 行財政改革	8

平成29年度の予算案について

平成27年度に策定した奈良市第4次総合計画後期基本計画、奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略による各施策をより発展させ、持続可能なものにしていく平成29年度。

依然厳しい財政状況ですが、行財政改革をさらに推し進めつつ限られた財源を効率的に配分し、次代を担う子どもたちのための施策、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりなど、本市の未来を見据えた政策に重点を置き予算編成を行いました。

重点分野

◆教育環境の充実 ◆子育て環境の充実 ◆安心・安全に暮らせるまちづくり ◆快適な未来を見据えた都市整備

その他

地方創生等の推進

教育環境の充実

教育は、本市だけでなく国の未来を切り拓く人材育成の礎です。

次代を生き、支える子どもたちを育む「学び」、現代の深刻な課題である「いじめ対策」の構築と、教員がより子どもと向き合えるための「負担軽減」など、子どもたちの心も守る「質の高い公教育」の実現に向けた取組をさらに進めます。

■ 次世代を見据えた公教育

4,131万円

主な施策

➤ 「学びなら」（ABCシステム）による

学力向上事業の拡充【教育支援課】

1,918万円

算数の単元テストの実施後に、個々の児童の習熟度に適合した復習問題を行う学習システム「学びなら」（ABCシステム）を活用した学力向上事業を、小学校4年生はモデル校3校での実施から全校展開に、5・6年生もモデル校で開始する。

➤ ICT教育の推進【学校教育課】

2,213万円

学校事務効率化のための校務支援システムの導入や校務用パソコンの入れ替え、ICT教育環境充実のためのタブレット端末の全校配置（1校1クラス相当分）と無線ネットワーク環境の整備を行う。



■ 安心できる「学び」の場

1億6,018万円

主な施策

➤ いじめ対策の推進【教職員課・いじめ防止生徒指導課】

1億26万円

すべての学校にいじめ対応教員を位置づけ、その支援のためにいじめ対応支援教員を16人配置。未配置校へは学校応援いじめ対応サポーターを派遣することで学校の実態に応じた支援を実施する。

- **スクールカウンセラーの配置【教育相談課】** 1,928万円
 全市立小学校及び高等学校に配置しているスクールカウンセラーの給与（時間単価）を引き上げることで経験豊かで優秀な人材を確保し、教育相談体制の充実を図る。
- **特別支援教育支援員の増員【教職員課】** 4,064万円
 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな対応と、担任の学級運営や授業を支援するため、現在の94名から97名に増員する。

■ 学校生活の充実

7,481万円

主な施策

- **都祁小学校スクールバスの運行【教育総務課】** 1,600万円
 都祁地域の4小学校（並松・都祁・吐山・六郷）の統合再編に伴い、通学にかかる児童の負担軽減のためスクールバスを運行する。
- **学校図書館の充実**
【教育総務課・図書館政策課】 4,028万円
 前年度に引き続き市立小中学校に図書館司書を派遣するほか、図書
 の整備や更新を進めることで、学校図書館の充実を図る。
- **部活動支援の充実【学校教育課】** 1,853万円
 部活動の専門的な指導ができる外部指導者や単独で練習や引率ができる外部顧問を学校に派遣する。



子育て環境の充実

これまでも様々な施策を展開してきた子育て支援を、新年度から子どもの心身の成長にとって非常に重要な乳幼児期に焦点をあて、親の孤立や不安に対するサポート体制の充実など、子育て環境のさらなる充実を図ります。

■ 子育て支援の充実

1,698万円

主な施策

- 幼稚園の一時預かり実施【こども園推進課】 470万円

子育て支援として、市立幼稚園で実施している一時預かりを、9園から11園に拡大する。
- 産後ケア事業【健康増進課】 915万円

心身ともに不安な時期にあって支援が必要な生後4か月未満の乳児及びその母親を対象に産科医療機関等で心身のケア及び育児サポートを行い、育児不安の軽減を図る。
- 子どもの貧困対策【子育て相談課】 313万円

生活上困難にある子どもや保護者の支援を充実させるために、さらなる実態把握を進めるとともに、支援者等に「子どもの貧困」に対する理解と連携等の研修を行い、対策事業の推進につなげていく。



■ 保育・相談体制の充実

1億6,420万円

主な施策

- DV相談センターの機能拡充【男女共同参画課】 330万円

配偶者暴力相談支援センターにおいて相談員を追加配置し、相談日についても週3日から週6日に拡大することで相談体制の充実を図る。
- 子育てナビゲーターの配置【子ども育成課】 444万円

子育て中や妊娠している人が、各家庭のニーズに基づき、教育・保育・保健・その他の子育て支援を円滑に利用できるよう、庁内に子育てナビゲーターを配置し相談に対応する。また、市内の子育て支援拠点等を巡回し相談などに対応する。
- 養育支援訪問事業【子育て相談課】 326万円

家庭での適切な養育環境を整えるとともに、児童虐待の発生予防のため、訪問支援員が対象者の居宅等を継続的に訪問し、養育に関する相談・助言を行うアウトリーチ型（訪問型）の支援の拡充・強化を図る。
- 臨時保育教育士の処遇改善【こども園推進課】 1億5,320万円

臨時保育教育士の賃金を月額8,000円増額するとともに、市外での経験年数も職歴に加算するなどの見直しを行うことで、待機児童問題の解決策のひとつとして保育教育士の確保を図る。



安心・安全に暮らせるまちづくり

いつでも、どこでも起こり得る犯罪や災害に対し、市民の生命、財産を守るための防犯・防災対策をより充実させていきます。また、市道路面下の空洞化調査や福祉の充実にも取り組み、「安全で安心なまち」をめざします。

■ 防犯・防災対策の充実

4,175万円

主な施策

- ▶ 防犯カメラの設置【危機管理課】 1,975万円
 犯罪の抑止効果や犯罪の発生時の容疑者特定に有効である防犯カメラの設置を進める。
- ▶ 防犯カメラを設置する自治会等への補助【危機管理課】 200万円
 防犯カメラを設置する団体に費用の補助を行うことで、防犯カメラの普及を図る。
- ▶ 消防団員用活動服の一斉更新【消防局総務課】 2,000万円
 「消防団員服制基準」の改正に伴い、新基準の活動服を消防団員に貸与する。

■ 安全安心のまちづくり

4億260万円

主な施策

- ▶ 路面下空洞化調査【土木管理課】 500万円
 全国的に多発している道路の陥没事故を未然に防ぐため、緊急輸送道路等の市道において路面下空洞化調査を実施する。
- ▶ 橋梁の点検・修繕、耐震補強【道路建設課】 2億5,040万円
- ▶ 公園の長寿命化等【公園緑地課】 6,270万円
- ▶ 小・中学校体育館のトイレ改修【教育総務課】 8,450万円
 避難所に指定されている小・中学校体育館のトイレ改修を行う（小学校7校、中学校4校）。



■ 福祉の充実

8,821万円

主な施策

- ▶ 障害者グループホームの新設・整備費補助【障がい福祉課】 7,807万円
 社会福祉法人等が障害福祉サービス事業所を整備する費用の一部を補助することで、グループホームの新設と既存グループホームのスプリンクラー設備整備を進める。
- ▶ 障害福祉計画の策定【障がい福祉課】 220万円
 平成30年度からの障害福祉サービス等の提供体制の確保に向けて、第5期奈良市障害福祉計画の策定を行う。
- ▶ 老人福祉計画及び介護保険事業計画の策定【福祉政策課・介護福祉課】 794万円
 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査を実施し、老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定する。

快適な未来を見据えた都市整備

歴史的文化遺産と豊かな自然に囲まれた本市は、これまでもその景観を保ちながら都市基盤の整備を進めてきました。これらの取組を今後も継続しながら、県と連携して進める事業を中心に、未来の「古都」の姿を見据えた施策を展開していきます。

■ 都市基盤の整備

33億2,808万円

主な施策

- まちづくり基本計画の策定【総合政策課】 4,800万円

県との連携により、「奈良公園周辺地区」・「八条・大安寺周辺地区」・「大和西大寺駅周辺地区」のまちづくり基本計画を策定し、県・市の役割分担のもとで早期の事業化を進める。
- 近鉄大和西大寺駅周辺の整備【西大寺駅周辺整備事務所】 27億3,975万円
- 八条・大安寺周辺地区設計【都市計画課】 2,400万円

JR新駅設置に関して必要となる都市施設の設計等を行う。
- 浸水対策（東九条・西九条地区等）【河川課】 3億8,500万円

浸水常襲地域（東九条・西九条地域）の浸水被害の早期解消のため、約500mの水路整備等を実施する。
- 平城山駅自由通路等バリアフリー化整備【道路建設課】 443万円

JR平城山駅の東西を接続する自由通路、跨線人道橋のバリアフリー化改修事業の実施に向けた計画検討を行う。
- 通学路・交通安全施設の整備 1億2,690万円

【道路建設課・道路維持課】

通学路等の道路上の危険箇所解消を図るため、歩道の整備、防護柵の設置、路面標示の整備等を行うとともに、住宅地内の安全性向上のため、「ゾーン30」の整備を行う。



地方創生等の推進

平成27年10月に策定した「奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点目標として掲げている「女性が輝くまち、観光がうるおすまちをつくる」の実現に向けて、女性の就労支援、観光力の強化、観光客誘致等の施策を行います。

また、文化活動の推進や定住促進、健康長寿の事業も展開し、市民がいきいきと暮らせるまちづくりに取り組みます。

■ 女性の活躍

1,500万円

主な施策

▶ 女性の就労支援【商工労政課】

1,500万円

女性のライフステージに応じた働きやすい環境づくりやワークライフバランスの確立を図る。

■ 地方創生の促進

8,500万円

地方創生推進交付金事業（国費）

主な施策

▶ 東アジアの交流を活かした観光力強化

4,500万円

【総合政策課】

外国人観光客に長く滞在してもらえるよう、戦略的な事業展開を行うことで、観光消費額のアップを図り、地域経済の活性化による雇用の増加につなげる。

▶ 東部地域の観光振興【奈良ブランド推進課】

4,000万円

定住人口及び交流人口の増加による地域活性化をめざすため、市東部地域におけるツアーやイベント等多角的な事業を行う。



■ 観光客誘致

2,649万円

主な施策

▶ 興福寺中金堂再建関連事業【観光振興課】

200万円

平成30年10月に約300年ぶりの落慶を迎える興福寺中金堂再建事業に関連し、観光商品造成やPR活動により誘客を図る。

▶ オーストラリア向け誘客事業【観光振興課】

249万円

訪日客数が多く旅行消費単価も高いオーストラリアに対して誘客活動を行う。

▶ （仮称）ならグレート・サマーフェスティバル開催助成【観光振興課】

500万円

県等が参画する周遊型観光イベント開催に対して助成し、観光閑散期である夏季の観光客誘客を図る。

▶ JR京終駅舎改修【奈良町にぎわい課】

1,700万円

奈良町の南の玄関口として、復元された駅舎全体を活用することで、訪れる観光客の利便性向上と周辺地域の活性化とともに、観光客の増加と滞在時間延長を図る。

■ 文化活動の促進

1億1,310万円

主な施策

➤ 国民文化祭【文化振興課】

1,700万円

平成29年秋に開催される「第32回国民文化祭・なら2017」・「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の奈良市実行委員会に助成を行い、文化活動の活性化を図る。

➤ ベルサイユ・ジュニア合唱団との交流【文化振興課】

70万円

姉妹都市であるベルサイユ市から来日するジュニア合唱団のコンサートを開催し、音楽文化による国際交流を行う。

➤ 入江泰吉没後25年記念事業【文化振興課】

40万円

平成29年は入江泰吉氏没後25年にあたることから、その遺作を通じて日本の美・大和の美を学び、語り継ぐため、シンポジウムや出前事業等の記念事業を行う。

➤ 文化創造発信事業（アートプロジェクト事業）
【東アジア文化都市推進課】

9,500万円

平成28年に開催した東アジア文化都市の成果を今後につないでいくため、そのノウハウを生かした継続的なアートプロジェクトを推進する。

■ 定住促進

3,193万円

主な施策

➤ 移住・定住に向けた取組【奈良ブランド推進課】

841万円

本市の魅力を発信することにより、特に子育て層を中心とした定住人口と交流人口の増加につなげるため、広報活動、定住促進イベントを行う。また、家族が共に育み、協力できる環境を支援するため、三世代の同居・近居住宅支援事業を行う。

➤ 空き家の利活用【奈良ブランド推進課】

2,352万円

空き家所有者を対象とした専門家によるセミナーや相談体制の整備、情報提供や空き家バンクの運営、バンク登録物件の改修等費用の一部助成により空き家の利活用を推進し、定住を促進する。また、地域活性化の活用モデルとなるような物件の改修等費用の一部補助を行うことで定住促進と地域課題の解決を図る。

■ 健康長寿の推進

6,201万円

主な施策

➤ 検診体制の充実（肺がんCT検診・胃がん個別検診）【健康増進課】

989万円

50歳と60歳の市民を対象に、医療機関での低線量CT（コンピューター断層撮影）による肺がん検診を行う。また、胃内視鏡検査による胃がん個別検診の対象年齢を、現行の「50歳」から「50歳から60歳までの偶数年齢」に拡大する。

➤ 救急搬送の受入体制の充実促進【病院管理課】

4,602万円

救急医療体制の充実を図るため、入院加療を必要とする救急搬送患者を受け入れた医療機関に対し、受入件数に応じた助成を行う。

➤ 感染症患者搬送用車両の更新【保健予防課】

610万円

経年により性能が低下した感染症患者移送用車両・アイソレーター・ストレッチャーを更新する。

■ 市民サービスの向上

1,175万円

主な施策

- ▶ 市民サービスセンターの機能拡充【市民課】 960万円
 ならファミリー5階の市民サービスセンターの取扱業務に印鑑登録、住民異動、税務証明交付業務を追加。また、奈良市ポイント制度の「ポイントの確認」と「奈良市の特産品」、「奈良交通バスの1,000円チャージ券」、「入浴券」への交換業務も行えるよう、業務内容を拡充する。
- ▶ (仮称)地域自治協議会の設立準備補助【協働推進課】 170万円
 自治会をはじめとする既存コミュニティ組織とNPOなどで構成する、地域全体の総括的な担い手となる新たな地域コミュニティ組織(仮称 地域自治協議会)設立促進のために、準備費用の補助を行う。
- ▶ 譲渡動物不妊去勢手術補助【生活衛生課】 45万円
 本市ではこれまでも保健所に保護された犬、ねこの譲渡数を増やすことなどにより殺処分削減を図ってきたが、さらに譲渡事業を推進するため、譲渡後の動物の不妊・去勢手術の費用を一部助成する。

■ その他の施策

2億9,716万円

主な施策

- ▶ 産地パワーアップ事業補助【農林課】 1億6,906万円
 農作業の効率化によるコスト削減や高付加価値の作物へ転換しつつ、買い手のニーズに応じた生産を行うなど、収益力向上に一体的かつ計画的に取り組む農業者に対し、生産体制の強化や集出荷機能の改善のためのソフト・ハード事業への支援を行う。
- ▶ 要緊急安全確認大規模建築物等耐震改修助成【建築指導課】 1,760万円
 耐震診断が義務づけられている大規模な旅館・ホテルといった要緊急安全確認大規模建築物等に対し、耐震改修事業にかかる費用の一部を助成する。
- ▶ 富雄丸山古墳事前地形測量調査【埋蔵文化財調査センター】 300万円
 本市西部にある西大和最大の円墳「富雄丸山古墳」の事前地形測量調査を実施する。
- ▶ 鴻ノ池運動公園再整備事業【スポーツ振興課】 6,000万円
 鴻ノ池運動公園内のみどりの丘再整備に伴う設計や、鴻ノ池とその周辺の整備を行う。
- ▶ クリーンセンター建設計画【クリーンセンター建設準備課】 4,750万円

■ 行財政改革

2億9,163万円

主な施策

- ▶ ファシリティマネジメントの構築に向けた
 施設管理システムの導入【FM推進課】 600万円
 施設の劣化部位や修繕履歴等を蓄積し基本的な施設情報とともに一元的に管理及び比較分析することで施設経営管理の最適化が図れるよう、データ分析専用システムを導入する。
- ▶ 会計課審査部門の業務委託【会計課】 483万円
 会計課業務の一部を民間委託する準備として、委託による業務の見直しとマニュアル作成を行う。
- ▶ 市街地家庭ごみ収集の民間委託【収集課】 2億8,080万円
 市街地の家庭系ごみ収集の民間委託対象区域を拡大し、さらなる業務の合理化とサービスの向上を図る。